



平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月2日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7446 URL <http://t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)工藤 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理グループ長 (氏名)築館 宏治 (TEL)0172(33)8131
 四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日~平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	9,369	△6.5	98	△46.1	107	△45.4	38	△49.1
22年9月期第2四半期	10,024	5.7	183	—	196	—	75	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	7 99	— —
22年9月期第2四半期	15 69	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	8,892	4,183	47.0	873 01
22年9月期	8,749	4,178	47.8	871 91

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 4,183百万円 22年9月期 4,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	— —	0 00	— —	10 00	10 00
23年9月期	— —	0 00			
23年9月期(予想)			— —	15 00	15 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日~平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	18,500 △3.5	160 △36.3	180 △35.4	68 △6.9	14 19

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4 「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年9月期2Q	4,800,000株	22年9月期	4,800,000株
23年9月期2Q	7,581株	22年9月期	7,581株
23年9月期2Q	4,792,419株	22年9月期2Q	4,793,465株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	4
(1)	重要な子会社の異動の概要	4
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4)	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3.	四半期連結財務諸表	5
(1)	四半期連結貸借対照表	5
(2)	四半期連結損益計算書	7
	【第2四半期連結累計期間】	7
	【第2四半期連結会計期間】	8
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4)	継続企業の前提に関する注記	10
(5)	セグメント情報	11
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア諸国を中心とした新興国向け輸出の増加等に伴い、景気に回復の兆しがみられたものの、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、景気の先行きが不透明な状況となりました。

当社グループが属する化学工業薬品業界や農業資材業界は東日本大震災の影響を受け、需要が減少し厳しい経営環境となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、93億69百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

損益面では、東日本大震災の影響で売上高の減少に伴い、売上総利益が減少し、営業利益は98百万円（前年同期比46.1%減）、経常利益は1億7百万円（前年同期比45.4%減）、四半期純利益は38百万円（前年同期比49.1%減）となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（化学工業薬品）

化学工業薬品では、半導体関連企業の製造が回復基調になったものの、東日本大震災の影響や前連結累計期間に大型補正予算があったため前年同期に比べ落ち込みました。その結果、売上高は51億49百万円、セグメント利益は5億37百万円となりました。

（臨床検査試薬）

臨床検査試薬では、機器システムの導入時期のずれ込みがあったものの、検体増加により臨床検査試薬が好調でほぼ前年並で推移しました。その結果、売上高は32億66百万円、セグメント利益は3億99百万円となりました。

（その他）

食品では、震災で生産ストップ状態の販売先もありますが、需要増加傾向にありました。農業資材では、不景気と震災の影響で厳しい状況が続いておりました。その結果、売上高は、9億52百万円、セグメント利益は1億20百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、1億43百万円増加し、88億92百万円となりました。また、負債につきましては、1億38百万円増加し、47億8百万円、純資産につきましては、5百万円増加し、41億83百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

（資産）

資産の増減の主な原因は、長期リース投資資産が増加したことによるものであります。

（負債）

負債の増減の主な原因は、長期リース債務が増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産の増減の主な原因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、92百万円増加し、7億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は1億56百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億3百万円、売上債権の減少額3億66百万円及び仕入債務の減少額1億41百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は10百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出25百万円及び投資有価証券の売却による収入12百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は53百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額43百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響等で、第2四半期及び通期の連結業績予想、個別業績予想を修正いたしました。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要なものはありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益へ与える影響はありません。

②「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる損益へ与える影響はありません。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	735,349	643,298
受取手形及び売掛金	3,893,913	4,270,402
商品	662,079	573,981
その他	112,413	63,039
貸倒引当金	△45,973	△42,624
流動資産合計	5,357,782	5,508,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	492,960	500,016
土地	1,328,762	1,333,202
その他(純額)	267,092	282,075
有形固定資産合計	2,088,815	2,115,295
無形固定資産		
のれん	1,307	1,961
その他	9,535	11,166
無形固定資産合計	10,842	13,128
投資その他の資産		
投資有価証券	683,918	660,984
その他	766,357	455,698
貸倒引当金	△15,322	△4,183
投資その他の資産合計	1,434,953	1,112,501
固定資産合計	3,534,611	3,240,925
資産合計	8,892,394	8,749,023
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,973,042	4,109,013
未払法人税等	57,087	112,495
賞与引当金	7,600	32,400
その他	187,738	128,430
流動負債合計	4,225,467	4,382,339
固定負債		
退職給付引当金	12,564	10,221
役員退職慰労引当金	58,696	60,537
その他	411,818	117,362
固定負債合計	483,079	188,121
負債合計	4,708,547	4,570,460

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,430,276	2,439,923
自己株式	△4,007	△4,007
株主資本合計	4,127,768	4,137,416
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,078	41,146
評価・換算差額等合計	56,078	41,146
純資産合計	4,183,847	4,178,563
負債純資産合計	8,892,394	8,749,023

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	10,024,734	9,369,277
売上原価	8,913,801	8,311,422
売上総利益	1,110,933	1,057,854
販売費及び一般管理費	927,871	959,146
営業利益	183,061	98,708
営業外収益		
受取利息	2,665	2,183
受取配当金	2,527	3,558
その他	8,902	6,145
営業外収益合計	14,096	11,887
営業外費用		
支払利息	53	87
持分法による投資損失	—	2,569
その他	184	372
営業外費用合計	237	3,028
経常利益	196,920	107,566
特別利益		
固定資産売却益	—	533
投資有価証券売却益	—	2,856
役員退職慰労引当金戻入額	—	4,000
その他	—	268
特別利益合計	—	7,657
特別損失		
固定資産圧縮損	—	2,728
投資有価証券評価損	30,612	4,617
投資事業組合運用損	6,314	3,430
その他	1,194	694
特別損失合計	38,121	11,470
税金等調整前四半期純利益	158,798	103,753
法人税、住民税及び事業税	67,327	53,413
法人税等調整額	16,268	12,063
法人税等合計	83,596	65,476
少数株主損益調整前四半期純利益	—	38,276
四半期純利益	75,202	38,276

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	5,529,934	4,687,266
売上原価	4,916,644	4,155,205
売上総利益	613,289	532,061
販売費及び一般管理費	474,932	461,517
営業利益	138,357	70,543
営業外収益		
受取利息	2,152	1,831
受取配当金	420	492
その他	6,612	5,389
営業外収益合計	9,185	7,712
営業外費用		
支払利息	34	54
持分法による投資損失	—	1,420
その他	86	109
営業外費用合計	120	1,584
経常利益	147,422	76,672
特別利益		
固定資産売却益	—	533
投資有価証券売却益	—	2,856
貸倒引当金戻入額	924	—
投資有価証券評価損戻入益	26,109	8,248
特別利益合計	27,034	11,638
特別損失		
固定資産圧縮損	—	2,728
投資事業組合運用損	2,857	3,260
その他	1,194	—
特別損失合計	4,052	5,988
税金等調整前四半期純利益	170,404	82,321
法人税、住民税及び事業税	64,419	50,272
法人税等調整額	2,513	△8,117
法人税等合計	66,933	42,155
少数株主損益調整前四半期純利益	—	40,166
少数株主利益	—	—
四半期純利益	103,471	40,166

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	158,798	103,753
減価償却費	30,339	31,448
投資有価証券評価損益(△は益)	30,612	4,617
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,856
投資事業組合運用損益(△は益)	6,314	3,430
引当金の増減額(△は減少)	6,620	△9,810
受取利息及び受取配当金	△5,193	△5,741
支払利息	53	87
持分法による投資損益(△は益)	—	2,569
固定資産除売却損益(△は益)	—	△533
固定資産圧縮損	—	2,728
売上債権の増減額(△は増加)	△543,722	366,490
たな卸資産の増減額(△は増加)	△189,588	△88,098
仕入債務の増減額(△は減少)	1,361,415	△141,370
その他	14,591	△7,409
小計	870,242	259,305
利息及び配当金の受取額	5,227	5,748
利息の支払額	△53	△87
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	64,374	△108,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	939,791	156,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,723	△8,029
有形固定資産の売却による収入	—	4,973
無形固定資産の取得による支出	△6,406	—
投資有価証券の取得による支出	△7,541	△25,057
投資有価証券の売却による収入	—	12,580
その他	△11,420	4,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,091	△10,897
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	21,000	20,000
短期借入金の返済による支出	△21,000	△20,000
配当金の支払額	△38,287	△43,628
その他	△9,598	△10,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,886	△53,787
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	848,813	92,050
現金及び現金同等物の期首残高	377,246	637,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,226,059	729,349

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

当社及び連結子会社の事業は、化学工業薬品及び臨床検査試薬並びにこれらに付随する関連機器の販売等の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載は省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため記載は省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、化学工業薬品・化学工業薬品関連機器、臨床検査試薬・臨床検査試薬関連機器、食品添加物・食品加工機器、農薬資材・農業関連機器の販売を行っており、商品別に営業グループを置き、各営業グループは、取扱う商品について戦略を立案し、営業活動を展開しております。従いまして、当社の報告セグメントは「化学工業薬品」「臨床検査試薬」「その他(食品添加物、農薬資材)」から構成されております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,149,601	3,266,855	952,820	9,369,277	—	9,369,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,149,601	3,266,855	952,820	9,369,277	—	9,369,277
セグメント利益	537,569	399,831	120,453	1,057,854	—	1,057,854

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため記載しておりません。